

第102回 理学療法科学学会 学術大会

日 時：2019年4月14日（日）10:00-16:20

会 場：埼玉医科大学 かわごえクリニック6階（埼玉県川越市脇田本町21-7）

大会長：赤坂清和（埼玉医科大学）

テーマ：パフォーマンス向上と障害予防をめざすスポーツ理学療法

開催趣旨：

2020年の東京オリンピック・パラリンピック大会を控えて、今年はワールドカップラグビーをはじめ数多くの国際スポーツ競技大会が予定されており、ますますアスリートやスポーツに対する注目が集まっています。スポーツ理学療法は、前回の東京オリンピック大会以降より徐々に活動を広げ、現在では幅広いアスリートや競技レベルに対してさまざまなサービスを提供しているところです。今回は、そのようなスポーツ理学療法の現状を見つめ直すとともにさらに国際化していくスポーツ理学療法の発展につつまして、スポーツ理学療法の分野でご活躍である4名の先生に特別講演を依頼させていただいています。少年野球を含む地域スポーツにおける障害予防については群馬大学大学院の坂本雅昭先生、ACL 損傷予防とパフォーマンスエンハンスメントについては東京医科歯科大学の相澤純也先生にご講演いただきます。さらに、スポーツ理学療法におけるフィールド、研究活動、大会サポートおよび教育については横浜市スポーツ医科学センターの鈴川仁人先生、身体機能と野球肘検診の最新トピックスについては北里大学の渡邊裕之先生にご講演をお願いしています。これらのご講演により、スポーツ理学療法の役割や現状について理解が深まることが期待されます。

なお、これらの講演内容を踏まえて、本学術大会のテーマを「パフォーマンス向上と障害予防をめざすスポーツ理学療法」とさせていただき、これに関連した基礎研究や臨床活動のご報告を一般演題として募集いたします。スポーツに関心がある理学療法士の皆さまには、万障お繰り合わせの上、ご参加頂きますようお願い申し上げます。

2019年1月吉日

第102回理学療法科学学会大会長 赤坂 清和

第102回 理学療法科学学会 学術大会プログラム

10:00-10:05 開会式

大会長挨拶 赤坂清和

10:05-11:05 特別講演1 『スポーツ障害予防の普及を目指して』

坂本 雅昭先生 (群馬大学大学院 医学部 保健学研究科 教授)

11:10-12:10 特別講演2 『ACL再建術後のアスリートへのスポーツ理学療法

－臨床データに基づく再損傷予防とパフォーマンスエンハンスメント－』

相澤 純也先生 (東京医科歯科大学スポーツ医歯学診療センター)

13:00-13:30 一般演題1 (7分、質疑3分)

13:35-14:05 一般演題2 (7分、質疑3分)

14:10-15:10 特別講演3 『スポーツに関わる理学療法士の役割』

鈴木 仁人先生 (横浜市スポーツ医科学センター)

15:15-16:15 特別講演4 『身体機能から見た野球肘の予防-野球肘検診から見てきたこと-』

渡邊 裕之先生 (北里大学医療衛生学部 講師)

16:15-16:20 閉会式

一般演題

口頭発表 : 演題

発表形式 : 口述 (発表 7 分、討議 3 分)

(口頭発表は Microsoft PowerPoint による PC プレゼンテーションのみ)

応募要領 : 演題名、演者の所属、氏名を含んだ抄録原稿を Microsoft Word で作成し、下記の大会事務局宛に e-mail にてファイルを添付して送付下さい。

※ メール件名を「第102回理学療法科学学会学術大会演題」として下さい。

抄録原稿 : A4 用紙1枚 (約1200字)、上下左右マージン30mm、40文字、45行 (1段組)、MS明朝11ポイントで作成して下さい。タイトル、所属、氏名は上5行以内、本文は6行目からとして下さい。

締切 : 2019年3月23日 (土) まで

参加費 : 会員無料・会員外2,000円、学生1,000円

大会事務局 :

〒350-0496 埼玉県入間郡毛呂山町川角 981

埼玉医科大学保健医療学部理学療法学科

澤田豊 電話 : 049-295-1001 (代表) e-mail: physiot@saitama-med.ac.jp